



式 辞

おめでとう、ありがとう

本日卒業を迎えられた皆さん、おめでとう、教職員一同とともに今日の門出を祝福いたします。

卒業生を見守り、支えてきてくださった、ご家族をはじめとする皆様、ありがとう、心より感謝の言葉を捧げます。

皆さんは、それぞれの分野で、主体的に考える力、専門的知識を身につけ、新しい人生に向かって旅立とうとしています。これまでの学生生活を思い起こし、開け行く新しい世界への予感に満たされていることと存じます。

皆さんが過ごした二年間はようやく思うがままに学生生活を送ることができるようになった時でしたね。しかし、何年かにわたるブランクがあり、行事の引き継ぎなどがうまくいかなかったこともあったでしょう。戸惑いを感じたこともたくさんあったかと思います。皆さんが入学した時に、学園は新たな将来像を見据えて、新時代の青陵学園をつくるスタートを切りました。それに歩調を合わせて、皆さんも、皆で力を合わせ、工夫することによって新しい青陵を作っていくという体験をしたのではないかと思います。

今世紀にはいり、世界は激動しています。いまでも、ウクライナ、ガザ地区をはじめとする中東では多くの悲劇を生みだしています。この地球号は海図のない状態で大荒れの海原に船出をしている状態ですね。社会に巣立つことに不安を感じている人もいないのでしょうか。

確かにいまは危機的な状況であるでしょう。だからこそ皆さんの活躍が求められています。地球温暖化対策も、多様性の尊重ということも、紆余曲折は予想されますが、前世紀と比べると、格段に前進しています。自治体、企業、地域社会の様々なレベルで積極的な取り組みがなされるようになっていきます。ことの重大性に鑑みるとまだまだという感も拭えませんが、かなり進捗しています。皆

さんの力で加速することを願っています。

皆さんに四つのお願いがあります。皆さんは大切にしている夢があるとおもいます。その夢をこれからも大事にしていきたいということがその一つです。かなわない夢でもよいのです。夢をかなえようとする努力は、皆さんを大きく育てることになるでしょう。二つ目は、希望です。社会に出て、挫折を味わうこともあるでしょう、夢が遠のくという時もあるでしょう。そのときに、やがて夢は叶うのだという希望を持って進んでほしいと思います。三つ目は大切なことです。夢を叶えるためには皆さんのまわりの人の力が必要となります。一人で孤立して奮闘するのではなく、是非、周りの人の協力を、進んで、求めてください。そして、最後のお願いです。皆さんも、夢を実現しようとして努力しているまわりの人に、積極的に、手をさしのべてください。皆さんが手を携えてそれぞれの夢を叶えようと努力することが、困難な時代の将来を切り拓くことになると思っています。

皆さんが活躍する企業、団体、地域はこれから急速に変容していくことになるでしょう。

そのなかで、この短大で身につけた、自分で考える力、専門的知識に自信を持って、人間らしく生き抜いていただきたいと思います。

最後に、卒業生とご家族の皆様の幸せを心よりお祈り申しあげ、私からの、はなむけの言葉といたします。

2025 年 3 月 18 日

新潟青陵大学短期大学部
学長 菅原 陽心